

第9回宇宙科学・探査部会 議事要旨

1. 日時：平成26年2月19日（水） 8：55－11：05

2. 場所：内閣府宇宙戦略室大会議室

3. 出席者

(1) 委員

松井部会長、薬師寺部会長代理、家森委員、小野田委員、田近委員、山川委員、山崎委員

(2) 事務局

中村宇宙戦略室審議官、深井宇宙戦略室参事官、頓宮宇宙戦略室参事官

4. 議事要旨

(1) 平成25年度補正及び平成26年度の宇宙関係予算案について（報告）

事務局から、資料1に基づき説明があった。説明の後以下のような意見があった。

○宇宙科学関連予算案については、昨年度から大幅増額で計上となったことは、努力を評価したい。ただし、ジオスペース探査衛星「ERG」の減額については、問題意識を文部科学省と共有していきたい。

(2) 国際宇宙探査フォーラム（ISEF）の結果報告

資料2に基づき、文部科学省等から説明があった。説明の後、以下のような意見があった。

○宇宙探査を行うにあたっては、様々な目的があるものの、サイエンス目的こそ特に大切とすべき。

○次回、日本で開催されるISEFに向けて、我が国としての考え方等を議論していく必要がある。

(3) 「宇宙科学・探査ロードマップ」のフォローアップ

資料3に基づき、宇宙航空研究開発機構（JAXA）から説明があった。説明の後、以下のような意見があった。

○イプシロンロケットの高度化を検討するにあたっては、科学コミュニティも含むユーザーのニーズを把握する必要がある。宇宙輸送システム部会と連携していくことが重要である。

以 上